



# ネイチャーセンターだより

本年もよろしくお願いたします 2019年1月号

## 新・いきもの図鑑



## オオワシ (ワシ科)

オジロワシおししろわしの繁殖地が、ユーラシア大陸北部の沿岸部えんがんぶなどロシアから北海道・ヨーロッパなど広く分布するのに対して、オオワシは、ロシア極東やサハリンなど限られた地域で繁殖します。子育てを終えた後に、おもに北海道東部に渡ってきます。秋に主食のサケがたくさん遡上する国後・択捉島を経由し、冬に根室に移動してきます。風蓮湖にはコマイ漁など漁業活動がさかんな2月に最も多く見られ、毎年600～800羽が確認されています。これは国内で越冬するオオワシの数の1/3にも上ります。

【参考文献】  
白木彩子 .2018. 野鳥 : 830  
樋口広芳編 .2013. 日本のタカ学

## トピックス

### ゴマファザラシごまふあざらしの帰還

12月に入ってから、ネイチャーセンターの観察窓の眼下に見える根室湾の岩礁の平たい岩の上に、1頭のゴマファザラシがねそべっているのが長時間見られました。最初に見つけたのが12月8日で、以後、17日までに合計5日間観察されています。同じ岩の上に、昨年11～12月にもゴマファザラシが1頭来ていました(2017年11月27日～12月22日に14日間観察)。この個体はどうしたことが背中から血を流していたことがあり(12月4日)、今年来ている個体にも同じ部位に大きな傷のあとがありますので、おそらく同じ個体が帰ってきたのだと思われます。ゴマファザラシは風蓮湖では1年中生息しており、夏から秋には干潮時、走古丹と川口の間の中洲に、100頭以上の群が上陸して休んでいるのが見られます。春国岱からは、海を泳いでいる姿や、冬の間、沖の氷の上でねそべっている姿が観察できることもあります。



# 見どころMAP

オジロワシやオオワシが、消波ブロックの上や樹上に止まったり、氷の上に降りたりしています。



食べものを求めて、10数頭から多いときは、100頭以上のエゾシカがいます。

積雪が深いときは、スノーシューを履いて歩くのがおすすめです。(貸出し無料)

オオアカゲラ・キバシリ・ハシブトガラなどが年中生活しています。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ☆ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

## 1月の見どころ予報



- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
  - ちょっと気をつければ見られる
  - + よーく気をつければ見られる
  - ・ めったに見られない

オオワシ オジロワシ	1月	○	氷の上や、立木に止まっているオオワシ・オジロワシを見る機会が増えてくる。オオワシの幼鳥は体全体が黒っぽく見えるが、くちばしの黄色は遠くからでも目立つ。オジロワシの幼鳥は体全体が茶色い。
タンチョウ	1月	・	春国岱周辺には、2つがいと今年生まれの幼鳥が1羽いる親子、つがいはまだ形成していない若鳥数羽がいる。湖面に氷が張ると、鶴居村などの給餌場に移動するが、2017-18年は暖冬で春国岱湾の氷が厚く張らず、移動しないつがいがいた。
オオハクチョウ	1月	+	風蓮湖が結氷し、主食のアマモ(海草)がとれなくなると、しだいに数が減り、厚岸湖・浜中町の火散布沼・藻散布沼、弟子屈町の屈斜路湖や東北・中部・関東地方で冬を越す。
カモ類	1月	○	特にホオジロガモ・ウミアイサが海岸で多く見られる。ほかにヨシガモ・ヒドリガモ・マガモ・オナガガモ・スズガモ・ビロードキンクロ・クロガモ・コオリガモ・カワアイサ。
カモメ類	1月	○	オオセグロカモメ(通年)・シロカモメ(冬鳥)多い。ほかに、ミツユビカモメ・カモメ・ワシカモメ(すべて冬鳥)
通年			カラ類(ハシブトガラ・シジュウカラ・ヒガラ)・ゴジュウカラ・キバシリ。キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)
見どころ			ワタリガラスがワシ類とともに行動していることがある。ユキホオジロ・ハギマシコ、今年はまだ会えていないが、現れるとすればこの時期。春国岱の海岸。

## 「ハマナス群落再生プロジェクト」エゾシカ防除柵のメンテナンスを実施

12月3日（月）、「ラムサール条約湿地」風蓮湖・春国岱の保全とワイズユースを考える会（略称：根室ワイズユースの会 北村信人代表）は、「ハマナス群落再生プロジェクト」エゾシカ防除柵のメンテナンスを実施し、エゾシカにより被害を受けた防除柵5基を修繕致しました。

「ハマナス群落再生プロジェクト」エゾシカ防除柵の設置は、平成26年10月に実施され、ハマナスの植生状況の変化を確認することが出来ます。調査開始時と開始から3年半後の樹高を比較したところ、柵がない場所では、14.5cmから5.38cmと低下したのに対し、柵を設置した場所では15.6cm（平成26年11月）から23.8cm（平成30年5月）と8.2cmも回復していました。一定の効果がみられることから、根室ワイズユースの会では、今後も定期的にエゾシカ防除柵のメンテナンスを実施し、ハマナス群落の再生を目指していく予定であり、こうした活動を通して、身近にある自然の魅力や大切さを1人でも多くの方に伝えていければと考えます。

根室ワイズユースの会事務局：根室市役所農林課林務・自然保護担当 三好達夢



シカ柵のまわりのゴミ拾いもあわせて行いました。ふたのしまったペットボトルやガラス瓶、浮き玉など、波によって運ばれたと思われるものが多く見られました。



## フィールドマナーを守って

自然と他の利用者にご配慮ください

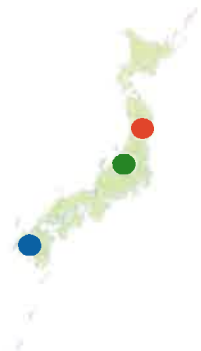
1. 観察路から外れないようにしてください
2. 動植物の採取や捕獲はしないでください
3. ゴミはお持ち帰りください
4. 所定の場所以外での喫煙はできません
5. 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
6. キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地でペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください。

## 春国岱クイズ

風蓮湖が凍りはじめて、11月にはたくさんいたオオハクチョウの姿が見えなくなりましたね。今の時期、オオハクチョウは風蓮湖から移動して他の地方で冬を越しているのです。

それでは、真冬の時期に、オオハクチョウがいちばん多くいる都道府県は、どこでしょうか？

- ① そいづあ、宮城です。
- ② んでねな。ハクチョウだば新潟だな。
- ③ 何ば言いよーんと。長崎に決まっとーやろう。



## 根室市からの おしらせ

ねむろバードランドフェスティバル 2019 1/25.26.27 開催!

### ネイチャー センターでは

「スノーシューで小さな森を歩こう！」  
1/26 (土)・27 (日) 13:00～(60分)  
高校生以上 500円 / 各回 15名  
主催：ねむろトコロジストの会

### 「箕輪義隆 原画展」

「海鳥識別ハンドブック」  
「見る読むわかる野鳥図鑑」など著者多数、日  
本野鳥の会オリジナル「ジシギクリアファイル」  
を手がけています

バランスよく鳥を描ける！谷口高司「タマゴ式」鳥絵塾  
1/27 (日) ①13:30～14:15 (シマエナガ)  
②14:30～15:15 (ヒガラ)  
対象：小5年～おとな 参加費：500円 (各回) 定員：10名 (各回)  
主催：フィールドアート



### ベルクラシック 根室では

★「タマゴ式」のお申込み・お問合せは、ネイチャーセンターへご連絡ください  
その他のくわしいプログラム内容は、下記のフェイスブックをご確認ください  
<https://www.facebook.com/nemuro.birdland.festival/>

フェスティバルのテーマバード「コクガン」について最新の知見を研究者から聞こう！  
講演会・「野鳥保護の夕べ」  
1/25 (金) 18:15～  
講師：池内俊雄さん (雁の里親の会代表)  
澤 祐介さん (バードライフインターナショナル東京)

地元のガイドとともにバスでバードウォッチング  
「おまかせガイドツアー」1/26 (土)・27 (日)  
「ワシ観察エコツアー」や  
「海鳥ネイチャーウォッチング」など！



## 春国岱ネイチャーセンターのイベント情報！

お問合せ・お申込みはネイチャーセンターへ  
お申込み方法は直接・電話・メールでお願いします (連絡先は下記に)  
お申込み時は参加者全員のお名前、ご連絡先、小・中・高生は学年をお知らせください

ボランティアグループ「スंक」主催

「スノーシューで  
ことりのこみち散歩」  
2月11日 (月・祝日)  
9:45～12:00



※荒天中止

スノーシュー (かんじき) をはいて、森をおさんぽ！  
はるの「きざし」や「におい」・「どうぶつのあしあと」など、森の宝を探そう！  
対象／幼児～大人 (1時間半野外を歩けるかた)  
定員／20名 (先着) ※2/10までにお申込みください  
受付／春国岱ネイチャーセンター1階 9:45までに集合！  
持ち物／野外で活動できる暖かい服装・長靴・帽子・手袋・温かい飲みもの  
参加費／幼児 100円・小学生以上 200円 (保険代・資材費)

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp) 最新情報はFBをご覧ください

URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

◆休館日：12月は29日から休館 (開館9:00-16:30)

1月1・2・3・9・15・16・23・30日

2月6・12・13・20・27日

◆団体でご利用の方へ (要事前申込)

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

クイズのこたえ 答 ① 各都道府県と環境省が毎年行っているガン・カモ・ハクチョウ類の一斉調査の結果によると、2018年1月にオオハクチョウの数が多かったのは、1位：宮城県、2位：岩手県、3位：北海道でした。道内では浜中町、厚岸町、伊達市がトップ3でした。新潟県は、コハクチョウの数が第1位、長崎県はスズガモの数が第1位でした。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録